



全力でボールを追いかけて

スポーツをととして健康増進を図る

11月10日(日)、自主創造プログラム事業『占冠村民フットサル大会』が、占冠中学校で開催され、7チーム33名が参加しました。

参加者は、慣れないながらもコート狭しと走り回り、懸命にシュートやパスを出してフットサルを楽しみました。

元気一杯に走り回る子どもたちと息も絶え絶えに動けなくなる大人の皆さん。日頃の運動不足にはくれぐれも気をつけましょう。



道路の大切さを伝えます

ライフラインを守ることの大切さを学ぶ

道路工業株式会社(中田 隆博 代表取締役)様より、道路の大切さを伝えるオリジナル絵本『こうたのあたらしいちず』を贈呈していただきました。

絵本は、生活に必要なライフラインを守ることの大切さを子供たちに知ってもらうために、小学校や保育所で活用されます。

この度は、絵本を贈呈いただき、心より感謝申し上げます。



夢を持つことに歳は関係ない

自分たちの持つ大きな可能性を信じて

10月18日(金)、キャリア教育『ボウリングとの出会い』が、占冠中央小学校5・6年生を対象に行われました。講師としてお招きした吉田由美子さんは、アメリカで行われた『世界シニアボウリング選手権大会2019』で日本人初となる金メダルを獲得した実力者です。吉田さんは、「皆さんは、大きな可能性を秘めています。いくつになっても夢を持つことは可能なので色々なことにチャレンジしてください。」と子どもたちに語りかけていました。



手しごとカフェ交流会

工作をつくって交流しよう

10月16日(水)、『手しごとカフェ交流会』が、占冠村コミュニティプラザ会議室で開催されました。参加者は、地域おこし協力隊の有光隊員の指導のもと羊毛などを用いた工作を楽しみました。

手しごとカフェは、中央・双珠別・占冠・トマムの村内4地区で毎月実施されており、参加者の交流の場となっています。どなたでも気軽に参加できますので、ご興味のある方は占冠村地域包括支援センター(☎56-2022)までお問い合わせください。



ひきこもる人を責めないで

ひきこもりの背景を理解する

11月5日(火)、『令和元年度富良野地区町村民生委員児童委員研修会』が占冠村コミュニティプラザで開催され、ひきこもりになってしまう原因や適切な対応の大切さ等について講演が行われました。

講演では、「ひきこもりは自己防衛のための回避行動のひとつである。」「ひきこもっている本人も自分の将来に不安を感じている。」「ひきこもりは、家族の問題だけではない。一人で悩まずに相談することが大切。」などといった説明がなされました。



トマム町内会防災訓練

災害から身を守るために

10月19日(土)、『令和元年度トマム町内会防災訓練』が開催されました。

災害から身を守るために平成27年度から行ってきた避難訓練も今年で5回目を迎えました。参加者は、これまでの訓練内容や災害に関する備えを再確認しました。また、富良野消防署占冠支署の指導のもと『正しい土のうの積み方』を教わり、大雨洪水などの災害から身を守る術を学びました。



可愛い衣装に身を包んで登場

ほほえましい演技で会場を和やかに

10月20日(日)、『占冠保育所はっぴょうかい』が、占冠村コミュニティプラザで行われました。

本番では、緊張している子どもも多数いましたが、覚えた演技、楽器演奏、踊りなどを一生懸命披露していました。オペレッタ『浦島太郎』では、子どもたちが自分たちで考えた演技も盛り込まれました。

演技が終わった子どもたちは、「上手にできてよかったです。」「楽しかったです。」とほっとしたように話してくれました。

